

白い息を見つめながら寒さに負けず元気に遊ぶ子どもたち。今年度も残り2か月となり、職員一同より身の引き締まる思いです。

園では、節分の豆まきを行いました。子どもたちは怖いと尻込みしながらも、鬼に向かって懸命に豆を投げている勇敢な姿がありました。鬼には5色の鬼が心の中に入ると言われています。赤→欲望、青→憎しみ、黄→後悔、緑→不健康、黒→愚痴。心の中の5色の鬼、自分にはどの鬼が潜んでいるのでしょうか。そんなことを考えてみるのも大切ですね。

また、ある日1歳児クラスの「お〜い」の歌声が廊下の階段下で聞こえてきました。すると、階段の踊り場から名前を呼ばれた子がニコッと笑い返事をして勢いよく降りてきます。下に降り立って友達の中に追いついた時の笑顔、待っていた子たちの笑顔と合わさって喜び合う子どもたちの姿はとても可愛いです。友達を意識して「自分も」という気持ちが集団の中で芽生えていく姿は保育園ならではの姿です。そんな喜び合えた子どもたち同士でも、玄関で靴を履くときには場所を譲ってもらえず「だめ〜」と言われて大泣きしていました。毎日の中で嬉しいこと、嫌なことをその都度表現してくれる子どもたちの姿は愛おしいです。

そんな気持ちを全て受け止められることで段々と心の根っこがしっかりとしたものになり「自分が好き」な子になっていくと思います。一人ひとりの心の根っこにしっかりと根が張れるよう丁寧に関わっていきたいと思います。

菅刈通信

〜栄養士・調理編〜

菅刈保育園では食育の一環として、行事食を取り入れています。行事食を通して、子どもたちに日本の伝統的な食事を体験し知るきっかけづくりと、なにより友達と楽しんで食べてもらいたいという願いから、年間を通して園の行事に合わせたメニューを考案し、提供しています。

子どもたちはいつもより少し特別な給食を見て、わくわくした様子で、苦手な野菜も自分から進んで食べていました。



3歳クラス

冬のもも会



4歳クラス



5歳クラス



節分

今月の予定

菅刈 TOWN
幼児身体計測

乳児身体計測
避難訓練

0・2・4 歳児クラスの好きな遊び



ひまわり組 (2歳児クラス)

散歩先の広場に着くと「鬼ごっこしよう」という元気な声が響いています。これまで保育士がオオカミになって子どもたちを追いかけて楽しんでいましたが、最近は「鬼になりたい」という声が聞こえ始めました。鬼を決める際にお兄さんお姉さんの影響を受け「鬼決めしよう」という子がいて「みんな、足を出して」「鬼決め、鬼決め」と指さして選んでいきます。「鬼じゃない人」と指が止まると「やったー」と喜んで逃げて行く子たちですが、何度か遊んでいると鬼になるのは大体同じ追いかけるのが得意な子です。それでも新しく流行りだした“鬼決め”はクラスの子たちにとっては新鮮で、友達や保育士と一緒に鬼ごっこに夢中になって遊ぶきっかけになっています。



うさぎ組 (4歳児クラス)



「〇〇やる人この指止まれ」と誰かが言うと「やりたい」と集まってはルールのある遊びを楽しむ子どもたち。最近はカードゲームのUNOが人気です。始めは保育士とルールの確認をしながら進めていましたが、やり方を覚えて自信が付くと自分たちだけで行えるようになりました。その中でルールが分からない子がいると教えたり、「このカードは今出せないよ」「出して良いはずだよ」等と意見が対立してしまうと、周りの子も加わって補足の説明をしたりしながら皆で解決しようとしています。また、勝った子は最後まで勝負を見守り、時にはどうしようか悩む友達に手助けする姿もあります。

ルールのある遊びの面白さを感じる経験を通して、相手の気持ちに気付いたり、様々な思いを巡らせたりしながら、友達とのやり取りを楽しんでいきたいと思っています。

つぼみ組 (0歳児クラス)



帽子を被り、バックを片手に持つと「ばいばーい」と手を振り、お出かけに向かいます。部屋を周っていると、途中で見つけたジュースをバックに詰めたり、ままごととテーブルでご飯を食べたりしながら戻って来ました。「おかえり」と伝えると、「たーいま(ただいま)」と言ったり、満面の笑みでお辞儀をしたりしながら遊ぶことが大好きです。また人形を手にとると、おんぶをしたりお布団を用意して寝かしつけたりが始まります。「いいこ、いいこ」と優しく頭を撫で、お腹や胸をトントンしてあげていました。時には子ども自身も寝転がって自分の胸をトントンしてみたり、寝転がっている友達をトントンしてあげたりと友達との関わりも増えています。

生活の中で経験したことをイメージして遊べるように、遊びの楽しさにたくさん共感していきたいと思っています。

